

||||| お詫びと訂正 |||||

本誌 2018 年 10 月号掲載＜特集：透析食の調理者と透析患者＞「1. 医学的見地からみた透析食－透析患者における各種栄養素」(p.1279～1285) において誤りがございました。謹んでお詫びし、訂正いたします。 『臨牀透析』編集室

p.1280
(誤)

表 透析患者の食事療法基準

治療方法	エネルギー (kcal/kg/day)	たんぱく質 (g/kg/day)	食 塩 (g/day)	水 分	カリウム (mg/day)	リ ン (mg/day)
血液透析	30～35	0.9～1.2	6 未満	できるだけ 少なく	<2,000	たんぱく質 (g) × 15 mg 以下
腹膜透析	30～35 (腹膜から吸収される ブドウ糖分を引く)	0.9～1.2	PD 除水量 × 7.5 g/L + 尿量 × 5 g/L	PD 除水量 + 尿量	制限なし	たんぱく質 (g) × 15 mg 以下

〔文献 1〕より作成。日本腎臓学会 編：慢性腎臓病に対する食事療法基準 2014 年版。日腎会誌 2014；56：553-599 より引用]

(正)

表 透析患者の食事療法基準

治療方法	エネルギー (kcal/kg/day)	たんぱく質 (g/kg/day)	食 塩 (g/day)	水 分	カリウム (mg/day)	リ ン (mg/day)
血液透析 (週 3 回)	30～35	0.9～1.2	6 未満	できるだけ 少なく	≤2,000	たんぱく質 (g) × 15 mg 以下
腹膜透析	30～35 (腹膜から吸収される ブドウ糖分を引く)	0.9～1.2	PD 除水量 (L) × 7.5 + 尿量 (L) × 5	PD 除水量 + 尿量	制限なし*	たんぱく質 (g) × 15 mg 以下

*：高カリウム血症を認める場合は血液透析同様に制限する。

〔文献 1〕より作成。日本腎臓学会 編：慢性腎臓病に対する食事療法基準 2014 年版。日腎会誌 2014；56：553-599 より引用]

|||||